



麦の記憶——民俗学のまなざしから



野本寛一 [近畿大学名誉教授/民俗学]=著

定価：本体3000円 [税別] / 四六判上製 / 352頁

目次

- I 麦の栽培環境 海岸砂地畑 / 斜面畑 / 段々畑 / 焼畑 / 牧畑 / 水田 / 沖縄
- II 麦コナシから精白まで 麦焼き / 穂落とし / 脱粒 / 精白
- III 麦の食法 大麦・裸麦の食法 / 小麦の食法
- IV 麦の豊穰予祝と実入りの祈願
- 終章 麦・拾穂抄

日本人はどのように麦を作り、食べてきたのか？

パンや麺類をはじめ、麦食品は日本でも大変馴染みのあるものですが、麦の自給率は2割弱、大半は海外産です。しかし、かつて日本人は米の「裏作」として、北海道から沖縄まで全国で麦を作り、さまざまに加工し、食べてきました。本書は、半世紀にわたり、日本中を歩き続けてきた著者が、古老たちから聞き取った麦の栽培法・加工法・食法、そして麦にまつわる儀礼などの民俗をまとめたものです。パンや麺類にとどまらない、麦と日本人との豊かな関係性が描かれます。

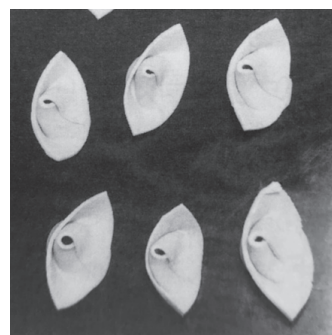
好評
2刷

2019年刊行

近代の記憶——民俗の変容と消滅

高度経済成長で日本が失ってしまったもの

最後の木地師が送った人生、電気がもたらした感動と変化、戦争にまつわる悲しい民俗、山の民俗の象徴ともいえるイロリの消滅など、「近代の記憶」を褪色と忘却からすくいだし、記録として甦らせる。



栃木県佐野市の「耳うどん」

株式会社 七月社

☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

七月社	帳合・番線	野本寛一=著 麦の記憶 民俗学のまなざしから 四六判上製 / 352頁 / 本体 3000円 / 978-4-909544-25-4 C0039	冊
		野本寛一=編 近代の記憶 民俗の変容と消滅 四六判上製 / 400頁 / 本体 3400円 / 978-4-909544-02-5 C0093	冊

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い * JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です